

SHOWA UNIVERSITY NEWS

8 AUG. SEP. 9
2024

昭和大学新聞
通巻 第621号 (隔月発行)

新企画 研究所探訪

寮祭2024～雲外蒼天～を開催



昭和大学
SHOWA University

2

Lab. Report

昭和大学研究所探訪

臨床疫学研究所
細胞外マトリックス研究所
メディカルデザイン研究所

4

Press Release

ゲノム解析により進化史を解き明かす
世界に分布する土壌ダニの系統関係を解析し、
海岸環境への適応は3度独立に発生したと推定
男性不妊に対する新しい治療手段に期待
老化物質AGEが精子数減少と運動機能低下に影響
離島における精神医療体制の構築と発展に向け
寄付講座を開設へ

7

News & Topics

看護専門学校戴帽式 附属病院業績優秀賞表彰式
認定看護師教育センター開講式
電子顕微鏡サマースクール
リカレントカレッジ特別企画(夏)ほか

14

Special Feature

女子アイスホッケーの
アスリート職員対談
獅子内美帆・小山玲弥

16

Student Life

寮祭2024～雲外蒼天～を開催

20

Database

令和6年度科学研究費
助成事業採択課題一覧
医学部
令和7年度 入学試験要項

25

Meeting Report (学内会議報告)

27

Information



昭和大学では、「医系総合大学」の特徴やキャンパスの地理的な特色を活かして、最新の研究を推進し、人類の健康や福祉等の発展に資するため、大学の附置施設として11の研究所を設置しています。今回は、2024年に設置された3研究所を紹介します。



① 旗の台キャンパス

昭和大学先端がん治療研究所
昭和大学臨床ゲノム研究所
昭和大学脳機能解析・デジタル医学研究所
昭和大学ストレスマネジメント研究所
昭和大学臨床疫学研究所 Pickup
昭和大学細胞外マトリックス研究所 Pickup

② 横浜キャンパス

昭和大学メディカルデザイン研究所 Pickup

③ 富士吉田キャンパス

昭和大学富士山麓自然・生物研究所

④ 烏山病院

昭和大学臨床薬理研究所
昭和大学発達障害医療研究所

⑤ 藤が丘リハビリテーション病院

昭和大学スポーツ運動科学研究所

臨床疫学研究所

iCE
Institute of Clinical Epidemiology

EBM推進と次世代研究リーダー育成を目指す

医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部を擁する本学の多職種連携の特色を活かした、他にはない臨床疫学の研究・教育拠点としてiCEは設立されました。

臨床疫学は臨床現場の諸問題を疫学的手法で解決する実践的な学問であり、EBM (Evidence Based Medicine) の基盤です。iCEでは疾患レジストリ研究、システマティック・レビュー (SR)、医療経済学・医療政策学研究など、幅広い研究デザインを用いた臨床疫学研究を行っています。また、次世代研究リーダーを養成する多

職種連携人材育成プログラム (SUNLiSE) の管理運営も行い、医学研究科衛生学・公衆衛生学分野と連携して大学院生の受け入れを開始します。

さらにICTを活用した研究・教育環境を整備し、英文SR論文の執筆・出版を中心としたSUNLiSE育成プログラムも拡充、学外の研究教育機関や関連学会との共同研究や連携教育を促進し、EBM発展に寄与します。

臨床疫学研究を通じて、本学の学術的評価の向上と開学の理念に沿う「実地に役立つ」医療人の育成を目指しています。



所長の長谷川毅教授は、大学院医学研究科腎臓内科学分野と衛生学・公衆衛生学分野を兼務する内科医でもある臨床疫学研究者 長谷川所長と所員の山路講師が研究解析結果についてディスカッション



細胞外マトリックス研究所

基礎研究を通じて新しい治療法の開発と実用化に取り組む

本研究所は、細胞表面に存在する細胞接着斑を介して細胞がどのように環境と相互作用するかを明らかにすることを目的に創設しました。

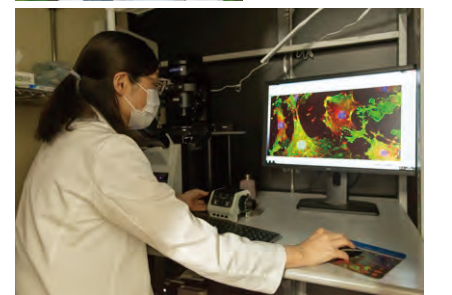
金山朱里准教授は、30年以上にわたり、細胞接着斑に局在するHic-5分子の病態生理学的意義を研究し、Hic-5が多様な疾患の発症と進展に重要な役割を果たすことを明らかにしました。現在、日本医療研究開発機構 (AMED) の支援を受けてHic-5阻害によりモデル動物の代謝関連脂肪肝炎や肝線維症が改善することを

発見し、「Hic-5インヒビターの新規用途」として特許を取得。創薬総合支援事業 (創薬ブースター) の一環として、Hic-5を標的とした治療法の研究も進めています。

さらに、東京工業大学と協力し、Hic-5を標的としたアンチセンス核酸医薬の開発を進める予定です。この核酸医薬は、代謝関連脂肪肝炎や肝線維症だけでなく、肺線維症や変形性関節症などの治療にも有効性が期待されており、革新的な治療法として社会実装を目指しています。



所長の宮崎章特任教授。今年4月からは富士吉田校舎勤務で、旗の台と富士吉田を行き来している 金山准教授は、蛍光顕微鏡を使用したタイムラプス撮影によって細胞内局在変化を動的に解析。この研究で得た新たな知見は、今後の治療薬への応用が期待される



メディカルデザイン研究所

IMD
Institute of Medical Design

医術をデザインで支え、心身ともに健康で創造的な場づくりを

デザインによって医療現場のQOL (Quality of Life) を向上させることを目的としています。動きやすくファッション性のある病衣やユニフォーム、安心感や心地よさを与える照明や待合室のデザインなど、医療現場の様々な要素のデザインを改善することを目指しています。

現在、産後喜ばれるメッセージカードやフोटスポットのデザイン、子供向けパルスオキシメータの外装デザイン、応急処置スキルを向上させるためのシミュレータとMR (Mixed Reality) 技術を融合した教

育プログラムのデザインなど、幅広い研究に着手しています。これらの研究で形あるデザインは、包括連携協定を締結している多摩美術大学の工作センターを活用し制作しています。また、医療機器メーカーや医薬品企業との協働により、医療器具や機器のデザイン、医薬品の形状やパッケージのデザインも展開する予定です。

医術と美術の連携で医療現場のQOL向上の有効性を示し、昭和大発のIMDモデルを世界に波及したいと考えています。



所長の安次富(あしとみ)隆教授は、多摩美術大学とのクロスアポイント制度によって今年の4月に採用された。プロダクトデザイナー 構想段階のものから病棟の医師や看護師と連携してすでに形にしたもので、さまざまなプロジェクトを平行して進めている





Press Release

昭和大学では最新の研究結果を外部（マスメディア）に発信しています。
ここでは、プレスリリースとして発信した記事を紹介します。

ゲノム解析により進化史を解き明かす 世界に分布する土壌ダニの系統関係を解析し、 海岸環境への適応は3度独立に発生したと推定



昭和大学の蛭田眞平准教授（富士山麓自然・生物研究所）、法政大学の島野智之教授（自然科学センター・国際文化学部）、グラーツ大学のトビアス＝プフィングスティル博士らによる国際共同研究チームが、ササラダニ類を対象にミトコンドリアゲノム全長を用い進化史の推定を行った。本来、土壌に生息する分解者のササラダニ類が潮間帯にどのように適応したのかを解き明かした。解析の結果、潮間帯ササラダニは陸上から海への適応が独立して3回起こった多系統群であることを明らかにした。主に熱帯環境に分布するグループは2億2500万年前頃に、両極域を含む冷涼な海岸環境に分布する2科は1億5000万年前以降にそれぞれ分化、適応したと推定された。

ササラダニ類（土壌ダニ）は、世界で約1万2000種（166科1328属）が知られており、ダニ類の中でも起源は古く、デボン紀前期（約4億1600万年前）から陸上生態系の分解者としての役割を担っている。ササラダニ類の多くは、土壌に生息し、落ち葉や落枝、あるいはそれと共に生息している微生物などを食べる事に特化しており、人や動物に害を与えることは決していない。

世界では、ササラダニ類の約1%に該当する種のみ4科20属119種（日本に3科7属13種）のササラダニ類（以下、仮に「潮間帯ササラダニ」と呼ぶ）が、海岸の岩場の潮間帯に主に生息している。本来は土壌ダニのはずでありながら、岩場の波をかぶるような潮間帯を主な生息地として適応した。森林で地衣類を好む一部の土壌ダニが岩場の地衣類を食べるようになり、それが次第に海中で藻類を食べるようになったのではないかと考えられている。現在は、満潮時には海面の下に沈んでしまうような厳しい環境で、潮間帯ササラダニは海藻を食べながら生活していると考えられている。空気を体の表面に蓄えられるように体には細かな構造があり、海面の下でも生きていける。

このような大きな生息環境の変更は、非常に稀な進化イベントであると考えられることから、潮間帯ササラダニ（ハマベダニ上科）は、ササラダニ類の中から出現した、海岸への適応に成功した単一の共通祖先を持つ（単系統群）説が、従来、有力だと考えられてきた。

2021年、2022年の2年連続で、海洋生物種の世界登録簿（WoRMS）から「注目すべき海洋生物の新種トップ10」に選ばれたツイッターダニ（チョウシハマベダニ）と、リツイートダニ（イワドハマベダニ）（両種ともハマベダニ科）は、市民からのSNS投

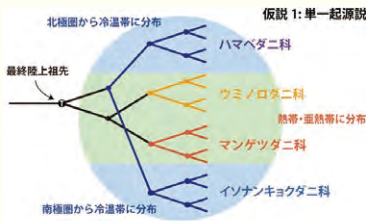
SNSから発見、新種として記載されたツイッターダニ（チョウシハマベダニ）は「潮間帯ササラダニ」の仲間。『2021年の注目すべき海洋生物の新種トップ10』のひとつに選ばれた。

稿から新種の発見につながった。これら2種もササラダニ類でありながら、海水に適応した珍しいグループで、海岸環境に生息している。このように潮間帯ササラダニ類は、未だに多くの未記載種が存在すると考えられ、本来の生息環境である土壌から潮間帯で生活するようになった進化の歴史も、これまで明らかにされてこなかった。

単系統群とされてきた潮間帯ササラダニは、合計4科に分類されている。“熱帯・亜熱帯”（熱帯・亜熱帯が主な分布域）のウミノロダニ科と、マンゲツダニ科の2科と、極寒の北極圏を主な分布域とし“北半球のみ”に生息するハマベダニ科、そして極寒の南極圏を主な分布域とし“南半球のみ”に生息するイソナンキョクダニ科（仮称）だ。これら4科の関係については以下の2つの仮説が提唱されている。

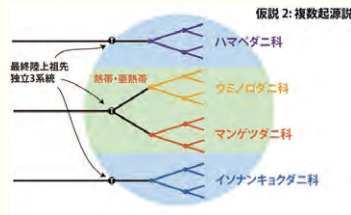
■仮説1：単一起源説

従来、考えられてきた説。海岸への適応に成功した単一の共通祖先によって、いったん極寒の極域に適応した祖先が生じ、北極圏から北半球の冷温帯に分布するハマベダニ科と、南極圏から南半球の冷温帯に分布するイソナンキョクダニ科のどちらもその祖先から進化し、他方、熱帯・亜熱帯にすむウミノロダニ科とマンゲツダニ科の2科ももとの祖先を同じとして進化したという説。



■仮説2：複数起源説

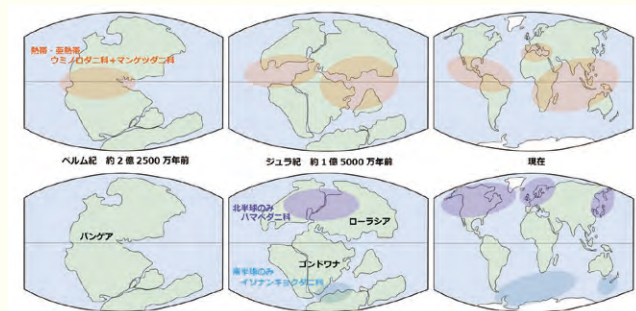
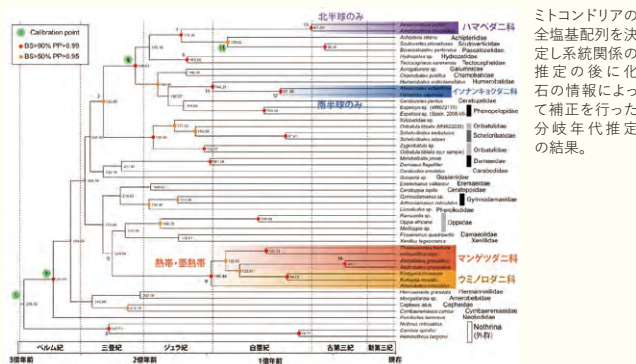
南極圏と北極圏で異なる祖先から別々に進化し、熱帯・亜熱帯も異なる別の祖先をもつという説。



本研究では、22種のミトコンドリアの全塩基配列を決定し、近縁種の配列とともに解析することによって系統関係の推定を行った。次に化石の情報による補正を行った分岐年代推定により潮間帯ササラダニの進化史を明らかにした。その解析の結果は以下の通り。

(1) 「仮説2：複数起源説」を支持した。つまり、潮間帯ササラダニ（ハマベダニ上科）は、陸上から海への適応が、ササラダニ類において独立して3回起こった多系統群であることを示唆した。(2) “熱帯性”のウミノロダニ科と、マンゲツダニ科の共通祖先は、三畳紀とジュラ紀にかけての期間（約2億2500万年前ころ）に、最初に海岸環境に適応したことが、分岐年代推定により示唆された。現在のこの2科の分布域から考えれば、この出来事は超大陸パンゲアがまだ存在していた時期に起こったことが示唆された。

また、“北半球のみ”の寒冷な地域に生息するハマベダニ科の祖先は、ジュラ紀後期から白亜紀初期（約1億7000万年前）に



「潮間帯ササラダニ」類の地誌的な生物地理。色のついた部分はそれぞれの地質時代における各グループの分布域を示す。破線は赤道を示す。

かけて海岸環境に適応し、ローラシア大陸の海岸地域に分布していたことが示唆された。

一方、“南半球のみ”の寒冷な地域に生息するイソナンキョクダニ科（仮称）の祖先は、ハマベダニ科の約3千万年後（約1億4000万年前）に海岸環境に適応し、ゴンドワナ大陸の海岸地域に分布していたことが示唆された。

以上の研究は、共同研究チームの蛭田眞平博士（昭和大学富士山麓自然・生物研究所 准教授）、島野智之博士（法政大学自然科学センター・国際文化学部 教授）、トビアス＝プフィングスティル博士（グラーツ大学 講師）が進めた。

リリース時タイトル／【昭和大学・法政大学・グラーツ大学】ミトコンドリア・メタゲノミクスから明らかになった、世界の潮間帯に生息する珍しい土壌ダニの進化の歴史～SNSから過去に新種記載されたハマベダニの仲間たちの進化史～

掲載誌／Scientific Reports

論文名／Mitochondrial metagenomics reveal the independent colonization of the world's coasts by intertidal oribatid mites (Acari, Oribatida, Ameronothroidea) .

著者／Pfingstl, T., Hiruta, S. F., & Shimano, S.

掲載日／2024年5月21日(火)オンライン公開

DOI／10.1038/s41598-024-59423-7

本件に関する問い合わせ先／昭和大学 富士山麓自然・生物研究所 准教授 蛭田眞平（ひるた しんぺい） E-mail : hiruta@cas.showa-u.ac.jp 法政大学自然科学センター・国際文化学部 教授 島野 智之（しまの さとし） E-mail : sim@hosei.ac.jp

男性不妊に対する新しい治療手段に期待 老化物質AGEが精子数減少と運動機能低下に影響



昭和大学（東京都品川区／学長：久光正）の森雄准教授（医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科学部門）と山岸昌一教授（同）らの研究チームは、老化物質AGEの作用を阻害する核酸医薬品（AGEアブタマー）を用いることで、糖尿病モデル動物の精子数の減少や運動機能の低下が抑えられることを世界で初めて明らかにした。本研究成果は、論文引用頻度の極めて高い科学誌「International Journal of Molecular Sciences」に掲載された。

■研究の背景・目的

少子高齢化が進行するわが国において、増加する不妊症への対策は重要な課題となっている。不妊症では30%以上が男性側の要因に起因しているが、原因不明のケースが約半数を占めている。近年、肥満や糖尿病の患者さんでは精子数の減少や運動機能の低下などが報告されており、男性不妊の原因の一つと考えられている。

一方、肥満や糖尿病では、食習慣の乱れも加わって体内で老化物質であるAGE（終末糖化産物）が過剰に蓄積されていく。

■研究成果の概要

今回、糖尿病モデル動物の精巣にはAGEが蓄積されており、過剰な酸化ストレスによって炎症が引き起こされていることが分かった。そして、AGEの作用を阻害する核酸医薬品（AGEアプタマー）が、糖尿病モデル動物の精巣での炎症を防ぎ、精子数の減少や運動機能の低下を抑えることを世界で初めて明らかにした。

■今後の展望

AGEを標的とした食事・療養指導が、男性不妊に対する新しい治療手段になりうると期待される。

掲載誌／*International Journal of Molecular Sciences* (impact factor 2024: 4.9)

論文名／DNA Aptamer Raised against Advanced Glycation End Products Improves Sperm Concentration, Motility, and Viability by Suppressing Receptors for Advanced Glycation End Product-Induced Oxidative Stress and Inflammation in the Testes of Diabetic Mice

著者／Yusaku Mori, Michishige Terasaki, Naoya Osaka, Tomoki Fujikawa, Hironori Yashima, Tomomi Saito, Yurie Kataoka, Makoto Ohara, Yuichiro Higashimoto, Takanori Matsui, Sho-Ichi Yamagishi

掲載日／2024年5月29日

DOI／10.3390/ijms25115947

本件に関する問い合わせ先／昭和大学 医学部抗糖化寄付講座 准教授（医学部内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科学部門 兼任）森 雄作（もり ゆうさく）
TEL：03-3784-8685 E-mail：u-mori@med.showa-u.ac.jp

離島における精神医療体制の構築と発展に向け 寄付講座を開設へ



2024年7月19日、学校法人昭和大学（東京都品川区／理事長：小口勝司）は鹿児島県大島郡南三島および公益財団法人慈愛会と寄付講座開設に関する協定を締結した。本寄付講座は、鹿児島県大島郡南三島および公益財団法人慈愛会の要請に基づき、医療体制が脆弱な鹿児島県大島郡南三島（徳之島・沖永良部島・与論島）地域における精神科医師確保および医療の向上に寄与するとともに、精神疾患領域における地域医療提供体制の構築・発展と多様な研究を促進することを目的に、2024年7月1日より開設された。



（左から）田畑克夫与論町長、前登志朗和泊町長、今村英仁慈愛会理事長、小口勝司理事長、高岡秀規徳之島町長、森田弘光天城町長、大久保明伊仙町長

参考／

昭和大学ホームページ：https://www.showa-u.ac.jp/
徳之島町ホームページ：https://www.tokunoshima-town.org/
天城町ホームページ：https://www.town.amagi.lg.jp/
伊仙町ホームページ：https://www.town.isen.kagoshima.jp/
和泊町ホームページ：https://www.town.wadomari.lg.jp/
与論町ホームページ：https://www.yoron.jp/
知名町ホームページ：https://www.town.china.lg.jp/
慈愛会ホームページ：https://www.jiaikai.or.jp/

本件に関する問い合わせ先／学校法人 昭和大学 総務部企画課 TEL：03-3784-8387 E-mail：kikaku@ofc.showa-u.ac.jp

■協定内容

- （1）精神疾患領域における専門医療人材の確保及び育成に関すること。
- （2）地域医療を担う医師等の養成及び研修プログラムの開発に関すること。
- （3）精神疾患領域における臨床研究に関すること。
- （4）精神疾患領域における地域医療提供体制の構築に関すること。
- （5）第1号から第4号による知見に基づく医療人材の教育に関すること。

日本調剤

全国に広がる、日本調剤のネットワーク。

日本調剤株式会社（本社：東京都千代田区丸の内、東証プライム市場上場）は、全国 47 都道府県で 700 以上の調剤薬局を展開している企業です。

News & Topics

2024.5.10

学生153名にナースキャップを授与 第60回戴帽式を挙

5月10日、快晴のなか、第60回戴帽式を上條記念館で執り行い、教育職員から学生153名の一人ひとりにナースキャップを授与した。

戴帽後には、代表の林真莉奈さんとともにナイチンゲール誓詞が唱和され、学生一同は、看護師を目指す者としての決意を新たにした。

木内祐二学校長は告辞で「臨地実習はこれまで学んだ医療・看護にかかわる多くの知識、多様な技能や態度を病院や地域の方々へ実践しながら学修し、医療人として大きく成長する場です。昭和大学は至誠一貫とチーム医療の志を何より大切にしています。患者さんは皆さんの最も大切な先生であることを自覚し、常に優



しい思いと敬意をもって接してください。望ましい看護とは何かを常に自らに問い、医療チームと共に学び、成長していかっ

続いて、久光正学長、小風暁医学部長、小口勝司理事長、荒川千春統括看護部長から祝辞があった。

最後に、学生を代表して、湊脇葵さんが昭和大学宣言を行った後、看護専門学校の歌を斉唱して閉式となった。

2024.6.3

認定看護師教育センター 5期生77名が入学

専門領域の技術・知識・マネジメント能力を磨く

6月3日、令和6年度昭和大学認定看護師教育センター開講式を上條記念館で挙

久光正学長の式辞の後、三村洋美認定看護師教育センター長は挨拶で「認定看護師を目指してご入学された皆さんには、実践・

式典・行事 認定看護師教育センター

指導・報告を柱として、学修と実践を行っていただきます。皆さんがここで学修したことは、日本国内、そして世界に発信していくべきものです。我が国の医療のレベルを上げること、人々の安寧と健康を守ること、看護の大事な仕事を目的にもって実践する人となってもらいたいと思います」と述べた。

6～8月はオンラインでの講義だったが、9月から対面での講義・演習が開始されている。



挨拶：三村洋美認定看護師教育センター長

2024.6.23～9.7

オープンキャンパス・入試説明会

6～9月にかけて、各キャンパスでオープンキャンパス・入試説明会を実施し、多くの方々に本学への理解を深めていただいた。

旗の台キャンパス

学部	日付	主なプログラム
医学部オープンキャンパス	7月28日	4年ぶりに対面型オープンキャンパスを開催しました。 ・教育職員による個別相談 ・在学生とのフリートーク ・救急医療研究部による医療現場の実演等
歯学部入試説明会	7月20日	・歯学部教育の特色に関する説明 ・令和7年度入学試験に関する説明 ・富士吉田キャンパスでの学生生活のトークセッション ・受験勉強の方法についてアドバイス
薬学部オープンキャンパス	8月3日	・総合型選抜入試説明会 ・昭和大学病院ミニ見学ツアー ・バーチャル人体解剖システムを用いた授業体験／模擬授業
看護専門学校オープンキャンパス	6月23日、7月21日、8月4日、24日	・キャンパス見学 ・模擬授業 ・看護体験

医学部 歯学部 薬学部 保健医療学部 看護専門学校 助産学専攻科 オープンキャンパス



横浜キャンパス

学部	日付	主なプログラム
保健医療学部オープンキャンパス	6月23日、7月27日、8月3日、4日	・令和7年度入学試験説明会 ・教育職員との個別相談 ・事務個別相談 ・キャンパス見学
助産学専攻科オープンキャンパス	6月23日、7月20日、8月7日、9月7日	・助産学専攻科に関する説明 ・卒業生からのメッセージ ・教育職員 ・在学生とのフリートーク ・助産学専攻科の演習体験

外傷対策や体温管理に関する講演も 夏季スポーツ大会壮行会

7月1日、第27回夏季スポーツ大会壮行会を上條記念館で開催した。

壮行会に先立ち講演会が行われ、田村将希講師（昭和大学スポーツ運動科学研究所）が「スポーツ外傷発生時の対応と傷害予防のためのストレッチング」と題し、スポーツには付き物である外傷について、応急処置方法を説明するとともにストレッチングによる予防が大事であることを説明した。

続いて、古屋貫治講師（同）が『「酷暑」におけるスポーツ体温管理がパフォーマンスを左右する』のタイトルで、日本の夏は『酷暑』と呼ばれるほど高気温になっており、特に東日本地域は酷暑になる率が高いことを踏まえ、スポーツでハイパフォーマンスを出来るかは暑さ対策が重要であると解説した。運動パフォーマンスを低下させないためには、暑さに身体を慣れられることと体温管理が大切であることを分かりやすく説明した。

壮行会では、久光正学長の告辞、小口勝司理事長の挨拶、美



1 講演会～会場の様子～ 2 告辞：久光正学長 3 校歌・応援歌斉唱 4 選手宣誓 5 応援エール

島健二父兄会長の挨拶に続き、医学部準硬式野球部の代表者が選手宣誓をし、健闘を誓った。

そして、グリークラブが校歌と応援歌を斉唱し、応援指導部からエールが送られた。

各大会を目前に控えた学生たちは、それぞれが全力を出し切ることを誓い合った。

附属病院の看護職員 4 名を表彰

6月24日、令和5年度附属病院看護業績賞表彰式を旗の台校舎で執り行った。

本賞は業務業績・研究業績が優秀と認められた看護職員に授与される。

今年度は研究業績4件が認められ、小口勝司理事長より賞状、小出良平総括病院担当理事から記念品が手渡された。

受賞内容は以下のとおり。（所属・役職は選考当時のもの）

研究業績（看護研究会）

所 属 名 昭和大学統括看護部 受賞者 次長／臨床教員 大崎 千恵子

受賞内容 臨地実習におけるSBAR実践訓練が
卒後の報告・相談時の躊躇に与える影響

所 属 名 昭和大学病院 受賞者 係長／認定看護師 永田 有理

受賞内容 頭部変形や残存歯のある患者へのNPPVマスクフィッティングの一例



記念撮影（前列左から、荒川千春統括看護部長、小口勝司理事長、小出良平総括病院担当理事、小川良雄統括看護部担当理事、後列左から、佐々木舞子看護次長、永田有理看護係長、大崎千恵子看護次長）

研究業績（専門看護師・認定看護師研究会）

所 属 名 昭和大学病院 受賞者 係長／認定看護師 諸戸 安恵

受賞内容 持続グルコース測定の指導体制整備による
血糖値の自己管理継続支援

所 属 名 昭和大学横浜市北部病院 受賞者 次長／専門看護師／認定看護師 佐々木 舞子

受賞内容 夜間緊急入院した高齢者の日常生活援助強化による便排出障害の改善

近隣の方々や学生で大賑わい 旗ヶ岡盆踊り大会

7月26日、旗ヶ岡盆踊り大会を旗の台キャンパス中庭で開催した。

旗ヶ岡盆踊り大会は昭和63年に第1回を開催して以来、近隣の方々と共に盛り上げてきた。今回も大変多くの方にお越しいただき、かき氷や焼きそば、ポップコーン、金魚すくい、ヨーヨー釣りなどの屋台、華やかな踊り手、迫力ある太鼓の演舞により盛会となった。



1 会場の様子
2 会場の様子
3 鏡開きの様子
4 太鼓演舞の様子（むさし在元太鼓）

教育職員・留学生向けイベントも同時開催 電子顕微鏡室主催の子ども向け 電子顕微鏡サマースクール

8月4日、昭和大学電子顕微鏡室主催の「子どもの電子顕微鏡サマースクール」を日本電子株式会社、株式会社日立ハイテクのご協力のもと、旗の台校舎で開催し、小学1年生～高校1年生の29名が参加した。

電子顕微鏡によって観察できる世界はどのようなものであるか、立体写真（三次元：3D）を赤と青の3Dメガネで見ると物が浮き上がって見えるコーナーや、持参した物を顕微鏡で見てみるコーナー、標本観察コーナーでの体験を通して、子どもたちは楽しく学んだ。

1mmの1/1000の大きさである μm （マイクロメートル）の世界に触れて、子どもたちからは驚きの声が上がった。

また、昭和大学病院小児科病棟と電子顕微鏡室をリモートで繋



1 体験コーナー：実際に見てみよう！ 2 標本を観察する参加者 3 昭和大学病院小児科病棟でのリモート観察

ぎ、小児科病棟に入院中の子どもたちは、画面で拡大された星の砂やたまごの殻、マスク（不織布）などを観察した。

別会場では「大人の電子顕微鏡サマースクール」を同時開催し、本学の教育職員・留学生が参加した。電子顕微鏡の仕組みや機能に関する説明、観察例の紹介につづき、器官・臓器の観察体験を行った。

未来へ向けたビジョン・ミッションの実現へ議論深まる 医学部附属看護専門学校ワークショップ

7月27日、第12回医学部附属看護専門学校ワークショップを、看護専門学校にて開催した。

『「昭和大学100周年に向けて」これからの看護専門学校のビジョンと目標を考える』をテーマに、「これからの看護専門学校のビジョン・ミッションの検討」と「ビジョン・ミッションを実現するための目標の例示」について議論を深め、実りあるプロダクトが作成された。



1 記念撮影 2 木内学校長の挨拶 3 発表の様子

教育力の向上を図り2コースに分かれて実施 教育者のためのワークショップ

8月1日・2日、8月25日～27日に「教育者のためのワークショップ」を富士吉田キャンパスにて開催した。

このワークショップは、教育の質の向上、教育職員の教育能力向上を目的とし、8月1日・2日の2日間はアドバンストコース（上級者向け）、8月25日～27日の3日間はビギナーズコース（初心者向け）が行われた。

ビギナーズ、アドバンストコースともに、小口理事長から昭和大学の中長期計画や大学の組織運営についての講演があった。

4学部合同や学部毎のグループに分かれて、熱いディスカッションが展開され、参加者同士の意見交換を通して、チーム医療に重要な学部連携、多職種による交流も果たせた。



1 アドバンストコース 集合写真 2 ディスカッションの様子（アドバンスト） 3 小口理事長講演（アドバンスト） 4 アナトマージテーブル（アドバンスト） 5 ディスカッション風景（ビギナーズ）

日本伝統芸能を目と耳で堪能 リカレントカレッジ特別企画（夏）

8月4日、昭和大学リカレントカレッジ特別企画（夏）「日本の伝統芸能を知る 歌舞伎と長唄」を上條記念館で開催した。

当日、会場には400名以上が集まり、大盛況となった。

はじめに、昭和大学リカレントカレッジの小川良雄プリンシパルが開催の経緯など含め挨拶した。

第一部の講演会では、長唄唄方の杵屋巳津二朗氏が「歌舞伎と長唄」と題し、歌舞伎と長唄の関係について、初心者の方にも分かり易く解説した。

続いて、第二部の演目披露・解説では、日本舞踊家の渡邊愛子氏が荻江「鐘の岬」、歌舞伎俳優の中村鷹之資氏が長唄「越後獅子」を披露した。



参加者からは、「解説の後に鑑賞できてとても分かり易かった」「マイクなしの生の声を聴き、清康な踊りを間近で見られて良かった」「目で耳で日本伝統芸能を感じることができた」などの声が寄せられた。

認定看護管理者教育の最終課程 サードレベル開講式

8月16日、2024年度認定看護管理者教育課程サードレベルの開講式を開催した。

例年同様オンラインでの開催となり、受講者35名が出席した。

同課程は日本看護協会が資格認定を行っている制度で、管理者として優れた資質を持ち、創造的に組織を発展させることができる能力を有する看護管理者を育成するために、「ファースト」「セカンド」「サード」とキャリア別に3つの教育課程が実施されている。

本学は全国の大学に先駆けて3課程で認定看護管理者教育機関として認定された。

昭和大学リカレントカレッジの小川良雄プリンシパルは「皆さんは本日から31日間191時間の課程を学びます。これまでよりさらに深い問題意識とともに討論・議論を行っていただきたいと思います。健康に留意して無事に研修を修了し、認定看護管理者となれることを祈っております」と告辞を述べた。



来賓祝辞の後、研修生一人ひとりの紹介があり、研修生代表の河原尚美さんは挨拶で、「現在の医療現場は人手不足や経営不振などの様々な課題・難題を抱えております。自身も師長と看護部長を兼任しており、組織全体のマネジメントの難しさを感じています。この課程を通して、看護の専門性を高め、組織に貢献するとともに、後輩の育成にも力を注ぎたいと思っています。よりよい医療を提供できるよう尽力します」と決意を新たにしました。

富士吉田市の晩夏の風物詩 日本三奇祭「吉田の火祭り」に大松明を奉納

8月26日、日本三奇祭の一つ「吉田の火祭り」が山梨県富士吉田市で開催され、今年も昭和大学富士吉田校舎として大松明を奉納した。

この祭りは、富士登山の山じまいの祭りとして知られており、高さ3メートルの筍形に結び上げられた大松明に火を灯して、富士吉田市の夏の終わりを告げる風物詩。

今年も多数の参加者が祭礼を楽しむ様子が見られた。

北口本宮富士浅間神社近くの道沿いに120本以上の大松明が立ち並び、上條由美副理事長や久光正学長、倉田知光富士吉田教育部長ら大学関係者が参加し、昭和大学富士吉田校舎の名が入った大松明に火を灯した。



1 大松明に火を灯す上條由美副理事長と久光正学長
2 久光正学長（中央）と大学関係者ら

主体的・能動的な学びの支援者たる 実習指導者を目指し 保健師・助産師・看護師 実習指導者講習会開講式

8月19日、横浜キャンパスにて神奈川県保健師助産師看護師実習指導者講習会・昭和大学保健師助産師看護師実習指導者講習会の合同開講式を執り行った。

本講習会は効果的で質の高い実習指導を行える指導者を養成し、看護基礎教育の質の向上を図ることを目的として行っている。

鈴木久義保健医療学部長は「実習指導における医療従事者や看護教員の役割は、主体的・能動的な学習を身に付けるよう支援することです。今回の講習で理論的背景に基づいた指導を目指していただきたいと思います。日々の臨床業務もあり大変かと思いますが、健康に留意して充実した講習会にいただけたらと思います」と、開講の挨拶を述べた。

続いて、田中晶子保健医療学部看護学科主任は挨拶で精神科医の和田秀樹先生の言葉を引用し「『常に目標を立て、目標達成にあたり中間目標を立て、一つずつ達成していくと、ゴールは常に新しい目標のスタートになり、潜む大きな幸運に向かうことができます』。これが“いいことを引き寄せる法則”といわれています。今回の講習では、目標を設定し、達成していくことでいいことを引き寄せ、有意義な時間を過ごしていただきたいと思います」と述べた。



1 挨拶：鈴木久義保健医療学部長 2 挨拶：田中晶子看護学科主任 3 来賓挨拶：荒川千春統括看護部長 4 開講式会場の様子

べた。

来賓挨拶では、荒川千春統括看護部長が「今回の講習で教育学に関する知識・技術を身に付け、立派な看護師を育てていただきたいと思います。教育というのは相手を知ることが必要です。相手がどのように考えているのか、どのようなメッセージを送れば変わっていくのか、相手への伝え方を工夫することが重要です。働きながらの研修は大変かと思いますが、体調に留意しながら取り組んでいただければと思います」と述べた。

最後に、受講生67名一人ひとりの名前が紹介され、閉式となった。

今後は、8月から12月まで週2回(月)・(火)、講義・演習・実習等が行われる予定。

特別協定校の生徒を対象に シミュレーション体験授業

7月6日、横浜キャンパスにおいて、特別協定校である昭和女子大学附属昭和高等学校の生徒を対象にシミュレーション体験授業を実施した。授業には、医療系分野に興味のある高校1年生4名、2年生2名、3年生8名の計14名が参加した。

授業の前半では、バーチャル解剖台「アナトマージテーブル」を用いて筋・骨格、心臓、脳の位置の確認、人工呼吸器が装着された高機能シミュレータを用いた脈拍の測定や呼吸音の聴取、仮想患者シミュレータ「Body Interact」を用いた患者の病態観察、高性能シミュレータを用いた心肺蘇生法などを体験した。生徒たちは、ICT技術を活用した様々なシミュレーション体験にとっても興味を示し、積極的に参加していた。

後半では、理学療法士、作業療法士になるために、どんな授業を受けているか、実際に体験した。理学療法学専攻では、理学療法士の役割の紹介のあと、普段無意識に行っている「寝返り」「起き上がり」「立ち上がり」といった動作の仕組みを理解し、相手の身体を簡単に動かす体験をした。作業療法学専攻では、作業療法士の役割の紹介のあと、小児作業療法の体験授業として、箸を使って豆をつかむ作業、自分たちで撮影した動画を観て作業を振り返り再挑戦する体験、自助具を使用した動作などを体験した。

生徒たちからは、理学療法学、作業療法学を体験する機会は初めてだったため、参加できて良かったとの感想が寄せられた。

今後も両校は、様々な相互交流を通じて高大連携を一層強化していく。



1 アナトマージテーブル 2 人工呼吸器が装着された高機能シミュレータ 3 高性能シミュレータを用いた心肺蘇生法

授業担当者

保健医療学教育学	田代 尚範 准教授、吉川 輝 講師、大澤 三和 講師
看護学科	鈴木 洋子 講師
リハビリテーション学科 理学療法学専攻	仲保 徹 准教授、上條 史子 准教授
リハビリテーション学科 作業療法学専攻	三橋 幸聖 准教授、鈴木 哲理 講師、駒場 一貴 講師

授業補助

理学療法学専攻2年	栗谷川 葵さん、齊藤 里佳さん
作業療法学専攻2年	佐々木 萌実さん

6年制薬学教育について議論が白熱 2024年度シン・全国学生ワークショップ

日本薬学会主催「2024年度シン・全国学生ワークショップ」を8月24日・25日に富士吉田キャンパスで開催した。

全国の国公立大学57校から各大学1名（5～6年次）が参加し、「研究マインド・能力を持った医療人材を育成する6年制薬学教育」をテーマに2日間にわたってグループ討議を行った。

企画・運営は全国の薬系大学薬学部の教授15名が担い、日本

集合写真



薬学会会頭および文部科学省・厚生労働省からの招待者を含む89名が1号館講義室と寮で熱気に満ちた討論を展開し交流を深めた。

日本顎関節学会学術大会で大会長賞

歯学研究科4年の澁坂和太さん（歯科矯正学専攻）が、第37回一般社団法人日本顎関節学会学術大会（7月13日～14日：徳島市あわぎんホール）において、演題名「関節円板の滑膜の変性は変形性顎関節症の病態制御に寄与する」を発表し、若手一般口演賞（大会長賞）を受賞した。

本発表課題の内容は、顎関節症患者の病態を模倣した、メカニカルストレスモデル、外科的関節円板転位モデルの2種の変

形性顎関節症（TMJ-OA）マウスモデルを作出し、シングルセルRNAseq解析と空間オミクス解析（Xenium）の統合解析により、変形性顎関節症病態メカニズムを解明した



澁坂和太さん

特別協定校にて「いのちの授業」を実施

7月17日、大学の特別協定校である森村学園高等部にて、1年生約180名を対象に土屋静馬教授（国際交流センター）が「人は何のために生きるのか？一高校時代に必要なこと、将来に必要なこと」をテーマに「いのちの授業」を行った。土屋教授自身の体験に基づくお話や、映像、音声を取り入れた講義の他、隣の席とペアとなり「意識のはたらき」と「関係性」のワークを行った。生徒たちは熱心に講義を聴き、「いま・ここ、この瞬間」を大切にすることを学んでいた。

今後も両校は、様々な相互交流を通じて高大連携を強めていく。

授業の様子



お気軽にご相談を!!

◆ **万が一のための保障準備**
◆ **住宅ローン・資産運用** など

お問い合わせ・ご予約は
三井住友銀行 旗ノ台支店
東京都品川区旗の台1-4-15
TEL. 03-3785-3012

SMBC

なんでもご相談下さい。

医学堂書店

有限会社 医学堂書店
〒142-0064 東京都品川区旗の台1-11-9
TEL 03-3783-9774 FAX 03-3783-3156
Email igakudo@peridot.bforth.com

薬疹の治療候補薬を探索 日本皮膚科学会総会で優秀演題賞

渡辺秀晃教授（医学部皮膚科学講座／北部病院皮膚科）が、第123回日本皮膚科学会総会（6月6日～9日：国立京都国際会館）において、演題名『アポトーシス・ネクロプトーシス・パイロトーシス抑制によるSJS／TENの新規医薬品の開発』で優秀演題賞を受賞した。日本皮膚科学会総会は皮膚科学分野における国内最大

【渡辺秀晃教授のコメント】

この度は、このような栄誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。市販薬を含む感冒薬や抗菌薬などを内服後、発熱や発疹がみられることがあります。今回、薬疹のなかでも最重症型の皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群：SJS）／中毒性表皮壊死症（toxic epidermal necrolysis：TEN）について、表皮細胞死の新しい機序を検討し、さらに三次元立体構造解析を行いSJS／TENの治療候補薬を探索しました（昭和大学研究シーズ集・ニーズ集2024参照）。中毒性表皮壊死症は死亡率が30%と

の学術集会である。今年は『皮膚のふしぎ（Skin More Than Deep）』というテーマで開催され、参加者は8,820人と過去最多だった。

渡辺秀晃教授



極めて予後が悪く、発症機序の解明、新しい治療法の開発が望まれています。本検討がSJS／TENの発症早期バイオマーカーにつながり、また一人でも多くの患者さんの救命への一助になればと考え、今後も検討を続けてまいります。

本検討は長きに渡り、帝京大学薬学部講師日下部吉男先生（昭和大学薬学部卒）とともに進めている研究です。日下部先生を始め、この研究活動にご指導・ご助言を頂いた学内外の全ての先生方に深謝申し上げます。

産学連携で診療支援AIを開発 医療情報学連合大会で学術奨励賞

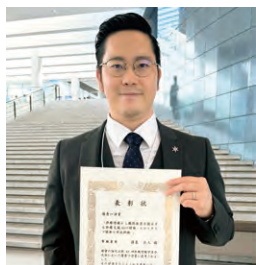
諸星北人講師（医学部衛生学公衆衛生学講座衛生学公衆衛生学部門）は、第28回日本医療情報学会春季学術大会（6月13日～15日：かずさアカデミアパーク）の表彰式にて学術奨励賞「優秀口演賞」を受賞した。同賞は第43回医療情報学連合大会（2023年11月22日～25日：神戸ファッションマート）において、演題名「診療情報から鑑別疾患を提示する診療支援AIの開発－プロトタイプ開発と実証評価－」の口演発表が高く評価されたものである。日本医療情報学会は、医療情報に関心を持つすべての研究者および

【諸星北人講師のコメント】

この度は、このような栄誉ある賞を賜り、誠に光栄に存じます。また、関係者の皆様には心より御礼申し上げます。

今回のプロトタイプAIは、電子カルテを主とした既存の診療記録を基に開発されました。臨床の医師・医療従事者の方々による日々の診療記録をより研究に活かせないかと思案し、中村明央総合情報管理センター長と共に、富士通株式会社との共同研究で実施しております。大学と企業、それぞれの強みを活かした産学連携である本研究が評価されたことは大変嬉しく感じます。研究を進めていく中で、疾患によりカルテの記述内容にて鑑別候補精

実務担当者の学術交流の場として1983年（昭和58年）に設立された。活動方針2024として、次世代医療情報システムの開発・健康医療情報基盤の社会実装・医療ビッグデータの解析・医療情報セキュリティの確立・医療情報人材の育成、に関する学術活動を行っていくことを掲げている。



諸星北人講師

度が高まる場合と、検査結果によって精度が高まる場合とが比較的くっきりと分かれており、医療面接の重要性を再認識しました。臨床現場における鑑別疾患の早期支援・一般社会での受診勧奨・医学教育における活用・研究における疾患とカルテ記載語句および検査結果との関連調査、と発展性に富んでおりますので、まだ課題も多々ございますが、社会実装を目指し進めていきます。

引き続き研究に精進し、大学の研究促進と社会への貢献に尽力する所存です。改めて、日頃よりご指導、ご助力をいただいている皆様に心より御礼申し上げます。

仕事にも競技にも真摯に向き合う 世界を目指すアスリートを紹介します

昭和大学には、現役の女子アイスホッケー選手として競技生活をしながら職員として働いているアスリート職員がいます。
働き方や競技生活との両立、アイスホッケーの魅力などについて、現在2026年のミラノ冬季五輪出場を目指している小山玲弥さんと、
元日本代表選手で現在はフルタイムで働いている獅子内美帆さんに語っていただきました。

私たち、仕事もアイスホッケーも全力です！

Koyama Remi

Shishiuchi Miho

現在、お二人は総務部で働いていますが、どんな仕事をされていますか？

獅子内 総務部企画課で、大学所有の土地や建物の管理をしています。また、アスリート支援事務室の仕事も兼務していて、昭和大学女子アイスホッケーチーム「ブルーウィンズ」の遠征や大会の事務業務や選手のリクルートもしています。「ブルーウィンズ」では、今年からプレイングコーチとしても活動中です。

小山 私は、アスリート職員として総務部総務課で官公庁などの関係機関から届いた文書の受付や、物品購入などに伴う支払い処理、保険関係の業務を担当しています。

ーズを不安なく過ごせたのは、この制度があったからだと思っています。平昌オリンピックのときには、職場の皆さんが現地まで応援に来てくださって、とてもうれしかったですね。

小山 就職活動中に、先輩方から「アスナビ」のことを教えてもらって、この制度を使えばより良い環境で競技に取り組めると思いました。あと、昭和大学で働きたいと思ったのは、獅子内さんがいたからというのも理由です。

獅子内 (笑) 小山さんとは北京の冬季オリンピックで一緒でしたが、

競技への取り組み方が素晴らしくて、チームのためにしっかり戦える選手だというイメージがありました。人柄も見て、昭和大学の職員の皆さんにもきっと愛されるだろうなと思っていました。

小山 なかなかそんなこと言われる機会がないので、うれしいです！

「アスナビ」を利用して、アスリート職員として昭和大学で働くよさについて教えてください。

小山 毎日練習がありますが、それに合わせて勤務時間を調整していただいたり、競技で遠征する際なども勤務に配慮していただけたという点ですね。

獅子内 アスリート職員時代は北海道のチームにいたので、オフの時期に2週間程度こちらに来て働いていました。そういう働き方ができたということもよかったですし、みなさんが応援してくださって職場の雰囲気がとてもよいというのは当時から感じていました。だから、引

お二人とも、現役アスリートの就職支援制度「アスナビ」がきっかけで昭和大学で働いています。制度を利用しようと思った理由を教えてください。

獅子内 私は、現役選手のときに、JOCの「アスナビ」担当の方からこの制度について教えてもらい、競技生活と両立ができると思い興味を持ちました。海外のチームに挑戦した年に就職しましたが、2シ

私の1日のスケジュールは

- 5:00 起床。大学までは距離があるので、6時半には家を出ます
- 8:30 仕事スタート。勤務時間中は、もちろん仕事に集中します
- 5:00 勤務終了。アイスホッケーは持ち物が多いので、一度家に帰ってから、東大和のリンクへ
- 20:30 この日は氷上での練習。筋トレ中心の「陸トレ」の日もあり！
- 23:00 練習終了。入浴&ストレッチをして、1時までに就寝。「陸トレ」の日はまだもう少し早く寝ます

小山 玲弥

2000年山梨県笛吹市生まれ。2023年入職。ポジションはフォワード。オリンピック日本代表として、北京2022の冬季大会に出場。試合に向かうバスで必ず聞いている曲は「群青フォトグラフ」

獅子内 美帆

1992年北海道釧路市生まれ。2014年入職。ポジションはフォワード。オリンピック日本代表として、冬季五輪に3回出場。最近コーヒを飲めるようになり、今のマイブームはソイラテ

退後は引き続きここで働かせていただきたいと思っていました。

小山 職場の雰囲気は本当にいいですね。遠征や大会で長期不在になるときも、皆さんが応援してくださるので、応援に応えたいという気持ちは強いです。数時間しか出勤できない中でも「いてくれて助かる」とおっしゃってくださいるので、両立を頑張る励みにな

っています。

最後に、女子アイスホッケーの魅力をアピールしてください。

獅子内 やはりスピード感ですね。どの団体スポーツよりもプレースピードが速く、攻守の切り替えの速さも魅力です。

小山 バックの移動スピードは、すごい迫力で、見ていて飽きないと思います。

獅子内 「氷上の格闘技」と言われるように、女子でも国際試合などで

ヒートアップすると激しいコンタクトがあるので、それも見どころです。女子アイスホッケーの試合は国内だと無料なので、観戦に来ていただければうれしいです。

小山 来年2月6～9日には、2026ミラノ・コルティナ五輪の最終予選があります。私は、まずそのメンバーに選ばれて、予選を勝ち抜いてオリンピック出場権を獲得することが今の目標です。これからも応援をよろしくお願いします。

アスリート職員が 両立しやすい環境です

女子アイスホッケー日本代表がプロ選手として活動するのは難しく、オリンピックに挑戦し続ける限り、「アスナビ」のサポートは必要不可欠だと思います。また昭和大学は、アスリート職員にとって競技に打ち込みやすい素晴らしい環境だと感じています。これから、女子アイスホッケー日本代表（チーム愛称：スマイルジャパン）へのご声援をどうぞよろしくお願いします。

女子アイスホッケー
日本代表監督
飯塚 祐司
(昭和大学所属)



スポーツの力で 職場に一体感

昭和大学では、JOC（日本オリンピック委員会）による現役アスリートの就職支援制度「アスナビ」を利用して、これまでに4名の女子アイスホッケー選手を雇用しています。「アスナビ」が介在することで、私たち（企業側）はアスリートの働き方やキャリア形成について理解を深めることができ、支援しやすくなるのが大きな利点です。アイスホッケーのように活動が季節的だと仕事はどうしても間欠的になりますが、「アスナビ」では企業同士が情報共有する場もあり、選手

と企業がwin-winの関係でいられるやり方を考えることができました。また、引退後を見据えたキャリア形成の支援も視野に入れています。職場にオリンピックを目指すアスリートがいて、仕事と両立させながら前向きに頑張っている姿を見ると、私たちも「応援したい」という気持ちになります。スポーツの力で職場に活気が生まれ、一体感をもたしてくるので、アスリート職員の存在は非常に大きいと思っています。

[取材・構成] 肥後 紀子



学生生活

寮祭2024 ～雲外蒼天～を開催

6月29日(土)・30日(日)の2日間、富士吉田キャンパスで寮祭を開催した。

今年度の寮祭スローガンは「雲外蒼天」。

「富士吉田キャンパスでしか味わえない青春の1ページを刻めるような寮祭にしたい」という実行委員の願いが込められている。

学生たちは、入学してから当日を迎えるまでの約2か月半の間、力を合わせて準備を進めた。29日(土)には、指導担任ごとのグループ(コンパ)対抗の大縄跳びや寮対抗リレーで盛り上がり、30日(日)は、お化け屋敷、模擬店、バンド演奏やダンスなど、学生手作りのイベントが盛りだくさんに行われ、学生たちは存分に楽しんでいた。



楽しかった寮祭

副実行委員長
医学部 田中 暁也



入寮から約2か月執行部、部門長の学生を中心に寮祭開催に向けて準備を進めました。色々な壁に直面することも多く、学生の中でぶつかり合うこともありました。大変なことも多い分、達成感も大きかったです。何よりも学生が寮祭を楽しんでいる様子を見られたときは、準備を頑張った良かったと心から思いました。

事務の方々、ボイラーさん、食堂の方など多くの方のおかげで寮祭を開催することができました。ありがとうございました。



達成感と学び

実行委員長
歯学部 佐々木 陸斗



withコロナの環境下でしたが、一般公開での開催ができたことを嬉しく感じています。入寮してから2ヶ月という短い時間の中で、寮祭を成功させるという目標に向かって皆で協力でき、当日までの準備を通して絆も深まりました。個々の企画も完成度が高く、皆が全力で準備していることが感じられました。真剣に取り組んだからこそ得られる達成感を実行委員や同級生と共有できていること、大変光栄に思っています。今回の貴重な経験を通して学んだ多くのことを今後の学生生活にも活かしていきたいと思っています。支えてくれた先生方、同級生の皆さんに感謝申し上げます。



楽しむことが 全てではない

体育祭部門長
医学部 栗原 旭



部門長の仕事は想像を絶するほど大変で、立候補したことを後悔するほどでした。しかし、自分でやると決めた以上は、最高の体育祭にしようと思い頑張りました。当日は、最高に盛り上がりくてとても楽しかったです。寮祭は多くの人と協力しなければ成功することはできません。この仕事を通して、たくさんの人と出会い、コミュニケーションを交わす機会が増えました。この貴重な経験は、将来、非常にプラスになると思います。この仕事に関わってくれた皆さんには感謝感激です！

力を合わせて突き抜けた“雲” 皆で眺めた“蒼天”

イベント部門長
医学部 高橋 証喜



協力してくださる方々の力を無駄にしないようにしなければならないという責任を常に負い、学生はもちろん富士吉田市民の皆様も楽しめる企画の提案・実現だけでなく、他の部門と連携して物事を成し遂げということは思った以上に大変なものとなり、その過程にはそれぞれ数多くの困難がありました。

しかし、いざ寮祭を実行に移す際には部門内外で皆団結し、一つの想いで作り上げることができ、心強い仲間達の協力もあり無事成功裏に終えることができました。この困難(雲)を乗り越えた先に成功(蒼天)が待っているという様はまさにこの寮祭のテーマ「雲外蒼天」だなと振り返ってみて思いました。

このような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



みんなの協力で 完成した寮祭

副実行委員長
医学部 新山 百香



副実行委員長という責任ある仕事を務めてみて、成功、失敗のどちらも経験し多くの学びを得ることができたと思っています。当日までの準備段階においては、各部門の部門長と連絡を取りあい情報共有を行うことで緊密に連携したり、実行委員長、副実行委員長の二人とは毎日夜遅くまで話し合いや全体運営に関わる作業に取り組んだりと体力的にも精神的にも大変でしたが、毎日が非常に充実していました。私はこの寮祭で全体を俯瞰してみることも大切さ、信頼関係を築くことの大切さ、そして人と協力して何かを創り上げることがどれだけ楽しいことなのかを改めて実感できました。本当にありがとうございました。



携わった全ての方々に 心から感謝

ライブ部門長
歯学部 羅田 梨央



ライブ部門の仕事は、部門員、先生方、浜田事務所の方、そして出演する学生など、多くの方々と連携しながら進めています。

寮祭を作り上げる過程で何度も大変な場面に直面しましたが、部門員をはじめとした友人からの励ましの言葉が原動力となり、成功を収めることができました。部門長として、出演者と観客の皆様が一瞬でも心から楽しんでくださったのであれば、何よりも幸せです。

携わってくださったすべての方に心から感謝しています。本当にありがとうございました。

多くの人に支えられ 実現した最高の寮祭

模擬店部門長
医学部 恩田 龍

模擬店部門の仕事は出店団体の募集から模擬店運営に至るまで多岐にわたり、どれも細かな調整を要するものでした。しかし副部門長をはじめ各出店団体の代表者や部門員が一丸となって、円滑な模擬店実施に向けて協力をしてくださいました。その結果、数年ぶりに外部の来場者もいっしょな規模の大きな模擬店の実施ではあったものの、大きなトラブルもなく無事に終わることができました。模擬店実施に際して、部門員・出店団体の方々・先生方・事務課の方、ご協力本当にありがとうございました。



周りの温かさに 助けられた寮祭

物品管理部門長
医学部 安崎 里桜

長いようで短かった寮祭準備の2か月間を通して、たくさんの新しい出会いがあったように感じます。特に物品管理部門は他の部門や、寮祭にかかわる様々な人と相談し、連携を取りながら活動することが多く、トラブルが起きるたびに周りの人のやさしさや温かさを感じることができました。

私にとっても最高の思い出となったこの寮祭の開催は、関わるすべての人の協力なくしては成り立たなかったものだと思います。本当にありがとうございました。



どれだけ多くの人に支えて もらっているのかわかった寮祭

バザー部門長
薬学部 田中 鈴々

昨年度まで新型コロナウイルスの影響で行うことができなかったバザーは、引継書など参考になるものが少なく、ほぼ一から作り出すことがとても大変でした。しかし、保護者の皆さんや地域の方々、先生方、事務課の皆さんの多くの協力を得て成功することができました。私はこのバザーの企画から普段、私たち昭和大学生が、どれだけ多くの方に支えてもらっているのを改めて感じることができました。今後も多くの人の支えがあることを忘れず、この経験を生かして大事な大学生活を送りたいと思います。協力していただきました皆さん、本当にありがとうございました。



みんなで作った寮祭

キャンプファイヤー・花火部門長
薬学部 坂井 晴人

準備が始まってからの2か月間はとても大変でした。名簿を作るところから始まって、事務課の人と、サポート教員の先生に挨拶したときにこれからやることの多さと自分が仕事をしっかりこなせるか不安になりました。しかし、周りの人に支えられて企画書の作成や外部業者とのやりとり、キャンプファイヤーの木の準備など大変な仕事も何とか寮祭当日までに終わらせることができました。当日は色々な人たちの支えで、大成功で終わらせることができました。初めての経験でうまくいかなかった部分もありましたが、楽しい思い出です。



馬術部が 「第60回全日本医歯薬学生 馬術定期戦」で総合優勝

5月26日、第60回全日本医歯薬学生馬術定期戦が茨城県中島トニアシュタールで行われ、昭和大学は団体優勝を果たした。定期戦の優勝は昭和大学としては5年ぶりとなった。

主将 山口理菜さん（薬学部4年）のコメント

今回5年ぶりに定期戦で優勝を果たすことができました。正規選手として出場させていただいた医歯薬公式戦で優勝を掴むことができ、心から嬉しく思っております。この結果は、先生方、先輩、同期、後輩のサポートと選手の「優勝したい」という強い気持ちから掴むことができたと思っております。今回の試合で見つかった課題を意識し、次の試合でよりよい走行ができるように、そして次回も優勝することができるよう、部員一同さらなる成長を目指して頑張ります。今回ご指導、応援してくださいました先生方、誠にありがとうございました。



1 第60回全日本医歯薬学生馬術定期戦優勝 2 小口勝司馬術部名誉部長に優勝報告 3 左から藤波ひなさん（保健医療学部看護学科4年）山口理菜さん（薬学部4年）堀智希さん（歯学部3年）

寮祭を通して

装飾部門長
医学部 中村 航樹

今年の装飾ではイルミネーション、顔はめパネル、スクエアガーデン垂れ幕等を作りました。装飾部門は50人近くの部門員が協力し仕事を分担して作業を進めることができました。顔はめパネルは先生の協力もあり非常によいものを作ることができました。本当にありがとうございました。垂れ幕は寮祭のテーマ雲外蒼天をもとに作りました。寮祭をうまく表現した垂れ幕を作れたと思います。最後に今回の寮祭の仕事を通して多くの方にご協力いただきました。本当にありがとうございました。



10人で駆け抜けた デジタル部門

デジタル部門長
歯学部 伊野 美来

準備が始まった当初は、なかなか仕事内容がイメージできない中で不安しかない日々が続きましたが、他の部門員に助けられながら毎日必死にみんなで活動を進めていくうちに、委員の仕事を楽しめるようになりました。パンフレット・ポスターが手元に届いたときや前夜祭ムービーが想像以上の盛り上がりを見せたときは、本当にうれしかったです。今年は一般公開をしたこともあり、より忙しい部門でしたが、この10人で2か月間活動できたことは、私にとって最高の思い出となりました。



令和6年度

科学研究費助成事業採択課題一覧

令和6年度の科学研究費助成事業の交付は全体で338件が採択され、総計で3億9,818万円が交付される。

各所属の採択件数・交付額は以下の通り。

■医学部：136件　1億7,535万円	■歯学部：84件　1億470万円	■薬学部：45件　4,583万円
■保健医療学部：36件　3,180万円	■富士吉田教育部：4件　760万円	■研究所等：33件　3,290万円

今号では、医学部の一覧を掲載する。

※所属・役職は令和6年5月交付時点

医学部

研究種目	所属／部門	職名	研究者名	内定額（円）	研究課題名
学術変革領域研究 (A)	生化学	講師	森戸 大介	14,900,000	タンパク質寿命の変容と血管狭窄
基盤研究 (A)	外科学／消化器一般外科学部門	特任教授	山上 裕機	6,900,000	膵癌に対する免疫抑制機構克服を目指した2方向性テラーメード免疫療法の開発
基盤研究 (B)	生理学／生体調節機能学部門	講師	本間 元康	6,800,000	顔貌の変化が顎変形症患者の認知機能と精神疾患傾向に与える作用メカニズムの解明
		准教授	宮崎 拓郎	3,700,000	代謝臓器の質を司るmRNA成熟因子の作動原理解明と臨床的基盤の構築
		准教授	金山 朱里	3,900,000	老化関連遺伝子を標的としたアンチセンス核酸によるMASH病態改善機構の解明
		講師	原口 省吾	3,100,000	加齢に伴う皮膚局所内分泌系の変容により引き起こされる加齢性皮膚疾患の分子機序解明
		講師	森戸 大介	5,200,000	脂質ユビキチン化の生物学
	医学教育学	准教授	土屋 静馬	3,800,000	医師患者間・医療面接教育用AIバーチャル模擬患者の開発と医学生の学修効果の検証
	内科学／リウマチ・膠原病内科学部門	教授	矢嶋 宣幸	4,700,000	RA診療の質指標の新たな挑戦：QI-PXギャップ評価と臨床監査介入で診療の改善を目指す
	内科学／消化器内科学部門	兼任講師	森 悠一	1,800,000	がん検診へのAI介入により、大腸癌は予防できるか－大規模ランダム化試験
	救急・災害医学	教授	土肥 謙二	2,400,000	神経ペプチドPACAPの熱中症による全身および神経炎症抑制機構の解明
		准教授	宮本 和幸	3,200,000	熱中症・敗血症（全身性炎症）における急性期～中長期の神経・液性シグナル連関の解明
	解剖学／顕微解剖学部門	教授	本田 一穂	1,100,000	分子標的薬による腎糸球体傷害の3次元電顕解析とオルガネラ診断への応用
		講師	康 徳東	1,600,000	抗刷子緑抗体による近位尿管管上皮傷害とミトコンドリア異常の関連性
		講師	澤 智華	1,000,000	褥瘡形成と修復における皮膚ランゲルハンス細胞の役割と細胞外核酸の治療応用
	解剖学／肉眼解剖学部門	講師	井上 由理子	1,200,000	ランゲルハンス細胞と知覚神経C線維の関係－褥瘡モデルマウスによる神経解剖学的解析
	生理学／生体制御学部門	教授	砂川 正隆	600,000	漢方薬によるオキシトシンの分泌促進作用
		准教授	安達 直樹	600,000	周産期ストレスによる胎児神経幹細胞分化過程の攪乱と大脳白質形成への影響
基盤研究 (C)	生理学／生体調節機能学部門	教授	泉崎 雅彦	1,000,000	睡眠時無呼吸による認知機能障害での海馬アストロサイトの役割の解明と治療標的の探索
		客員教授	鬼丸 洋	800,000	延髄呼吸循環中枢ニューロンの低酸素受容の細胞・分子機構の解明
		准教授	政岡 ゆり	1,800,000	嗅覚-記憶の連関を用いた脳内ビジュアルイメージトレーニング法の確立
		准教授	飯塚 真喜人	800,000	吃逆中枢の解明：Phox2B 陽性ニューロンの特異的活性化を用いて
		教授	前濱 朝彦	1,100,000	PICT1 を起点とする核小体ストレス応答機構の全貌解明
	生化学	助教	折井 みなみ	1,200,000	もやもや病における細胞・組織障害のメカニズム解明
	薬理学／医科薬理学部門	講師	佐々木 晶子	1,000,000	乳がん患者の化学療法によるしびれ改善の冷却法とハンドセラピー併用技術の確立
	衛生学公衆衛生学／衛生学公衆衛生学部門	教授	小風 暁	300,000	テレワーカーのプレゼンティーズムへのコーヒー飲用の影響に関する職域コホート研究
		准教授	吉本 隆彦	800,000	オフィスワーカーにおける座位行動と運動器疼痛に関する縦断研究及び介入可能性の探索
		准教授	山内 武紀	1,400,000	感染症における定点把握の妥当性に関する研究

研究種目	所属／部門	職名	研究者名	内定額（円）	研究課題名
法医学		教授	松山 高明	900,000	心筋疾患による心臓の末梢血管の病理形態学的変化に着目した心不全発症機序の解明
		准教授	草野 麻衣子	1,700,000	急性カフェイン中毒にCYP1A2と腸内細菌が与える影響の解明
微生物学免疫学		教授	伊與田 雅之	700,000	腎疾患における2型自然リンパ球の関与
		准教授	幸田 力	1,200,000	妊娠時におけるサイトメガロウイルス再活性化に関与する腸内細菌叢の機序解明
		講師	久野 芳裕	700,000	腸内細菌のANCA関連腎炎への免疫学的関与の解明と病態制御への応用
内科学／呼吸器アレルギー内科学部門		准教授	鈴木 慎太郎	100,000	シミュレーションシステムによる反復学修はアナフィラキシーへの対応能力を向上させる
内科学／リウマチ・膠原病内科学部門		准教授	井上 嘉彦	800,000	高齢者慢性腎臓病に対するサルコペニア・フレイル予防を考慮した食事療法の開発
		准教授	若林 邦伸	1,200,000	関節液由来線維芽細胞の免疫表現型解析による関節リウマチの病態解明への挑戦
		普通研究生	城下 彰宏	400,000	再発性下気道感染症のデータベース構築と抗緑膿菌活性をもつ抗菌薬の有効性の検討
		普通研究生	辻本 康	1,000,000	文献レジストリ構築とリアルワールドデータによる膠原病予後因子の網羅的負荷推計
内科学／糖尿病・代謝・内分泌内科学部門		准教授	森 雄作	900,000	食事由来の終末糖化産物が造精機能障害を惹起する分子機序の解明と治療法の開発
		講師	吉原 彩	1,100,000	甲状腺ホルモン生合成調節機構における硫酸化とその機能の解明
		講師	寺崎 道重	1,000,000	外因性の終末糖化産物による動脈硬化の分子機構の解明と機能性核酸医薬によるその阻止
内科学／消化器内科学部門		講師	三澤 将史	1,300,000	医師の内視鏡操作技術を定量化する人工知能を用いた教育システムの構築
		講師	前田 康晴	800,000	潰瘍性大腸炎患者の行動変容を促すモバイルヘルスシステムの開発と効果検証
		講師	坂木 理	1,000,000	肝線維化治療に特化した新たな中鎖脂肪酸療法の確立
基盤研究 (C)	内科学／循環器内科学部門	教授	新家 俊郎	800,000	新規冠微小循環定量法による左室機能保持心不全患者に対する監視下運動療法効果の解明
		教授（員外）	木庭 新治	600,000	心臓リハビリテーションによるトリグリセリド代謝を介した抗動脈硬化作用機序の解明
	内科学／腎臓内科学部門	准教授	松本 英成	500,000	ブラーク内出血とハプトグロビン遺伝子多型から見た新たな冠動脈イベント予防戦略
		准教授	礪 良崇	1,500,000	腫瘍循環器における末梢血マイクロRNAによる運動耐容能評価・運動処方の開発
	内科学／腎臓内科学部門	兼任講師	加藤 倫子	1,000,000	新型コロナウイルス感染症の心血管系合併症リスク層別化モデルの作成
		准教授	溝渕 正英	1,300,000	CKDのリン代謝異常による新規臓器毒性の探究
	内科学／脳神経内科学部門	教授	村上 秀友	700,000	内因性ドパミンの賦活によるパーキンソン病の治療効果を予測する神経心理学的背景
		准教授	金野 竜太	250,000	失語症患者の統語機能を支える脳内ネットワークの構造的再編メカニズムの解明
	内科学／腫瘍内科学部門	講師	黒田 岳志	1,500,000	音声解析AIを用いた認知機能評価アプリケーションの開発と有用性の検証
		普通研究生	平澤 優弥	1,200,000	Th17細胞のPD-1受容体結合率及びボドブランニン発現と臨床アウトカムの相関解析
外科学／心臓血管外科学部門	外科学／心臓血管外科学部門	講師	廣田 真規	900,000	両心室機能評価装置を搭載した体外式搬送システムによる心停止ドナー心の選別
		教授（員外）	大塚 耕司	1,200,000	安全なロボット支援下手術を目指したロボットエネルギーデバイスにおける熱損傷の検証
	外科学／消化器一般外科学部門	准教授	福島 光浩	600,000	頸部術後出血による創部内圧上昇に伴う気道閉塞を防止する創部内圧持続測定法の開発
		講師	加藤 容二郎	700,000	少子化対策としての心停止下提供子宮移植普及へ向けた基礎研究（動物実験モデル）
	外科学／乳腺外科学部門	講師	山下 剛史	500,000	終末糖化産物測定による新たな食道癌手術侵襲評価マーカーの開発
		講師	松田 和広	700,000	肝腫瘍に対する肝表層血管構造のAI診断に基づくリアルタイム解析システムの開発
	外科学／乳腺外科学部門	助教	富岡 幸大	1,400,000	解剖誤認根絶を目指した外科医の認識をサポートする新規AIシステムの開発
		教授	林 直輝	300,000	原発乳癌リンパ節転移陽性患者における術前化学療法後腋窩郭清省略の多施設共同研究
	整形外科	教授	川崎 恵吉	600,000	深層学習を用いた舟状骨偽関節例における骨壊死の術前の非侵襲的診断の開発
		客員教授	平泉 裕	900,000	損傷脊髄に生着しやすい骨髄間葉系幹細胞の特性化と予見的選択法の開発
		講師	石川 紘司	1,200,000	高齢者の手術リスクを可視化する：合併症予測モデルを基軸とした最適な術式選択

研究種目	所属／部門	職名	研究者名	内定額（円）	研究課題名
リハビリテーション医学		教授（員外）	笠井 史人	1,600,000	周術期のための遠隔プレハビリテーションシステムの開発とその効果検証
		准教授	永井 隆士	500,000	腹筋仙骨間距離が嚥下機能におよぼす病態の解明
		兼任講師	和田 真一	700,000	「主体性」が中途障害者の生活を改善させる ―主体性評価に基づく関わり方の効果―
産婦人科学		教授	関沢 明彦	1,100,000	妊婦血漿中cfDNAのゲノム解析データを用いた周産期予後の評価法の開発
		教授	松本 光司	900,000	HPVワクチン接種後の血清抗体：発症予防抗体価と持続期間の検討
		教授（員外）	市塚 清健	800,000	次世代型HIFUトランスデューサを用いた病的胎盤に対する非侵襲治療に向けた基礎的検討
		講師	金子 真由美	2,100,000	アスピリン抵抗性の遺伝学的解析による妊娠高血圧腎症の病態解明と予防・治療開発
		助教	小松 玲奈	2,000,000	深層学習を用いた超音波検査における胎盤機能不全の予測
皮膚科学		教授	猪又 直子	900,000	慢性蕁麻疹におけるSTAP-2の脱顆粒制御機構の解明
		教授（員外）	渡辺 秀晃	500,000	三次元立体構造解析・モデルマウスを用いたSJS／TEN治療薬の開発
		助教（医科）	雷 小峰	700,000	シングルセル解析を用いた全身性強皮症新規標的分子の解析
耳鼻咽喉科頭頸部外科学		講師	洲崎 勲夫	900,000	好酸球性鼻副鼻腔炎の難治化におけるIL-4Raを介したType2炎症過剰亢進機序の解明
		助教（医科）	村山 正和	1,300,000	微小環境におけるイン酪酸の癌免疫応答作用機序の解明
基盤研究 (C)		教授（員外）	今井 孝成	900,000	経口免疫療法の舌下併用ランダム化比較試験と評価指標として抗原結合親和性の探索
		教授（員外）	加藤 光広	1,300,000	深層学習モデルで解き明かす発達性てんかん性脳症と脳形成異常の遺伝素因と画像診断
		准教授	中野 有也	400,000	極低出生体重児の体組成正常化および神経学的予後改善をめざした栄養管理の検討
		助教	本多 愛子	2,100,000	鶏卵のFPIES（food protein-induced enterocolitis）の自然歴とバイオマーカーの探索
小児科学／小児内科学部門		教授（員外）	藤井 隆成	700,000	3Dプリンティングによる動脈管ステント留置最適化アルゴリズムの構築
		助教	齋藤 真理子	900,000	非造影MRIによる先天性心疾患患者のリンパ管の形態評価に関する研究
精神医学		教授	稲本 淳子	400,000	認知機能を軸とした急性期の気分障害における評価と包括的支援の開発及び効果の検証
		教授	真田 建史	1,300,000	脳機能イメージングによるうつ病の腸脳連関の解明
		客員教授	戸田 重誠	1,100,000	ADHDの世界認識はなぜ「ズレ」なのか；表現学習における質的・量的変化の検証
		准教授	富岡 大	1,600,000	SNSを用いた妊娠中の心理生活支援による産後うつ病予防効果方法の確立
		講師	加藤 正子	200,000	AIを活用した食道がん術後再発に対する放射線治療の効果予測
放射線医学／放射線治療学部門		講師	原田 堅	1,700,000	ナノ技術を用いた密着性、伸縮性、薬剤溶出性が融合した食道ステントカバー材料の開発
		助教（医科）	豊福 康介	1,100,000	新MRI解析方法NODDIを活用した全脳照射後における認知機能低下の原因探索
麻酔科学		講師	小林 玲音	500,000	人工膝関節置換術後の早期ペインクリニック介入による慢性疼痛予防
		特任教授	山上 裕機	1,500,000	仮想現実映像を応用した革新的がん緩和ケア療法による未来医療の開発
挑戦的研究 (萌芽)	外科学／消化器一般外科学部門	講師	奥茂 敬恭	1,400,000	変形性膝関節症に対する防已黄耆湯の治療効果に関する基礎的解析
		助教	宮内 彩	1,100,000	メカニカルストレス応答性分子を標的とした新規変形性膝関節症創薬シード化合物の創出
生化学		ポストドクター	田辺 桃子	(※1) 0	統合失調症関連遺伝子WDR3欠損による認知機能および疾患感受性への影響
		助教	佐々木 陽介	600,000	リンパ節穿刺吸引細胞診における細胞塗抹標本の補助的診断手法利用に向けた検討
臨床病理診断学		准教授	小口 達敬	1,100,000	エルゴチオネインの神経保護作用とアルツハイマー型認知症治療薬への応用
		講師	細沼 雅弘	2,100,000	膵がん微小環境のiRhom 1 / 2 バランス制御による抗腫瘍免疫の活性化
若手研究	医学教育学	准教授	川原 千香子	500,000	安心安全な診療参加型臨床実習を促進するシミュレーション教育プログラム構築と検証
		助教	宮田 祐人	500,000	喘息患者における広域周波オシレーション法での呼吸抵抗に基づいた新規治療法の探求
内科学／呼吸器アレルギー内科学部門		助教	江波戸 貴哉	1,200,000	IL-34のM2 マクロファージを介した喘息病態における役割の解明
		兼任講師	平井 邦朗	200,000	COPD患者におけるフレイル発症・進行因子の特定
内科学／リウマチ・膠原病内科学部門		助教	柳井 亮	100,000	SLEの遺伝情報を含む診断時コホート構築 -個別医療を目指した機械学習とクラスター解析
		助教	小黑 奈緒	2,800,000	ステロイド誘発性満月様顔貌の定量による容姿変容ストレスの解明と管理ツールの開発

研究種目	所属／部門	職名	研究者名	内定額（円）	研究課題名
内科学／糖尿病・代謝・内分泌内科学部門		助教	大坂 直也	700,000	終末糖化産物を標的としたフレイルに対する包括的な治療手段の開発
		助教	八島 広典	1,100,000	動物性タンパク質による糖尿病性腎症の増悪機構解明と機能的核酸医薬を用いた治療
内科学／消化器内科学部門		講師	一政 克朗	1,000,000	StageⅡ大腸癌の術後化学療法必要性を判断する、人工知能システムの開発
		助教	神山 勇太	400,000	大腸癌の遺伝子サブタイプを予測するAI内視鏡診断システムの確立
		助教	佐藤 雄太	1,200,000	排便状態から大腸癌と便の有無を認識する人工知能アプリケーションの開発
		兼任講師	工藤 豊樹	500,000	大腸腫瘍に対するEndocyto（超拡大内視鏡）診断体系の基盤確立
内科学／循環器内科学部門		助教	辻内 美希	(※1) 0	肥大型心筋症における心臓リハビリテーションの有効性の検証と評価法の確立
		講師	佐藤 芳憲	100,000	孤発例、家族内発症例の比較によるIgA腎症の原因遺伝子の探査
内科学／腎臓内科学部門		講師	齋藤 友広	1,100,000	尿毒症環境下におけるマグネシウムとカルシメティクスの石灰化と骨量への影響
内科学／血液内科学部門		助教	馬場 勇太	1,700,000	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の治療感受性を決定する腸内細菌・短鎖脂肪酸の解析
		講師	森 友紀子	500,000	認知症に対する非薬物療法の効果を可視化する評価方法の探索
内科学／脳神経内科学部門		兼任講師	杉本 あずさ	(※1) 0	アルツハイマー病における時間認知障害 ―関係発達論による神経心理学の展開―
		講師	大熊 遼太郎	1,300,000	免疫療法不応の克服に向けた可溶性免疫チェックポイントの解析及び膵臓癌治療への応用
外科学／消化器一般外科学部門		助教	平井 隆仁	1,200,000	膵切除後膵液瘻克服を目的とした、腸内・膵内細菌叢の網羅的解析
		准教授	垂野 香苗	1,200,000	乳癌術前化学療法後の腫瘍修復を標的とした新規手術・診断システムの開発
外科学／乳腺外科学部門		助教	吉田 伶香	800,000	Plasma-safe-seqs技術を用いた乳癌再発の早期診断法の確立
		講師	岡野 市郎	500,000	脊椎術後骨量減少の診断・治療法の確立
整形外科		助教	関水 壮哉	900,000	骨化性線維粘液性腫瘍における新規融合遺伝子の臨床的意義と作用機構の解明
		助教	百々 悠介	900,000	髄鞘を標識した遺伝子改変メダカを用いた骨折治癒過程における髄鞘の動態解明
産婦人科学		講師	瀬尾 晃平	400,000	CDH1に対するFETO後のバルーン除去 ―HIFUによる新規胎児治療法の開発―
		助教	後藤 未奈子	1,100,000	AGEsに着目した妊娠高血圧症候群の発症機序の解明とプレコンセプションケアへの応用
泌尿器科学		助教	松井 祐輝	700,000	化学療法誘因性末梢神経障害への冷却療法に対する血流スコープ評価と新規治療法の開発
		講師	岡田 祐樹	1,000,000	Avidityに着目した食物経口免疫療法の出口戦略
小児科学／小児内科学部門		助教	日隈 のどか	1,400,000	fNIRSを用いた早産児の学齢期の前頭葉機能に関する研究
		普通研究生	田中 未央里	1,200,000	ヒトミルクオリゴ糖の母乳細菌叢形成における役割と濃度調節機構の解明
救急・災害医学		准教授	垂水 庸子	1,200,000	転倒から急性疾病を見抜く救急外来向けチェックリストの開発と検証：AI応用への挑戦
		助教	鈴木 恵輔	1,100,000	熱中症における熱産生調節機構の解明と予防戦略の確立
麻酔科学		講師	幸塚 裕也	300,000	コーンビームCTは閉塞性睡眠時無呼吸に対する口腔内装置治療の効果予測に有用か
		講師	山村 彩	400,000	全身麻酔下で開口を障害する顎顔面リスク因子の検討と開口障害予防口腔内装置の開発
研究活動スタート支援	産婦人科学	助教	朝見 友香	300,000	ゲノム異常を用いた子宮体癌のリンパ節転移を術前に予測する機械学習モデルの構築
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (A))	整形外科	講師	石川 紘司	(※2) 0	「骨の質」を基盤とした術後合併症予測モデルの国際展開

※1：研究中断に伴う継続課題のため、本年度分の入金無し
※2：研究開始年度に全額入金有り

次号（Oct. - Nov. 2024）では、歯学部と薬学部の一覧を掲載する。

令和7年度

入学試験要項

一般選抜入試の試験場変更、保健医療学部初年次学生納付金の減額など

令和7年度昭和大学入学試験要項を公開し、総合型選抜入試の出願がスタートした。昨年度からの変更点は、医学部一般選抜入試（Ⅰ期）・（Ⅱ期）一次試験、および歯学部・薬学部・保健医療学部一般選抜入試（Ⅰ期）の入試区分において、東京試験場のみの実施となる。また、東京試験場については、昨年のパシフィコ横浜から五反田TOCビルに変更となる。また、前年度に引き続き、総合型選抜入試を除く入学試験においては、出願書類審査は行わない。さらに、保健医療学部では、令和7年度入学者より初年次学生納付金を減額する。

令和7年度 入学試験日程

入試区分	募集人員	出願期間（郵送必着）	試験日	発表
学校推薦型選抜入試 ※特別協定校のみ	2	令和6年11月1日(金) ～10日(日)	令和6年11月17日(日)	令和6年12月2日(月) 15:00
卒業生推薦入試	7			
一般選抜入試（Ⅰ期）	83	令和6年12月9日(月) ～令和7年1月26日(日)	一次：令和7年2月7日(金) 二次：令和7年2月15日(土)・16日(日)	一次：令和7年2月12日(水) 12:00（正午） 二次：令和7年2月17日(月) 12:00（正午）
一般選抜入試（Ⅱ期）	18	令和7年2月3日(月) ～20日(水)	一次：令和7年3月1日(土) 二次：令和7年3月8日(土)	一次：令和7年3月5日(水) 12:00（正午） 二次：令和7年3月10日(月) 12:00（正午）

歯学部 薬学部 保健医療学部

入試区分	募集人員	出願期間（郵送必着）	試験日	発表
総合型選抜入試	歯 8 薬 20 看 15 リハ(理) 8 リハ(作) 9	令和6年9月2日(月) ～17日(火)	歯：令和6年10月6日(日) 薬・保：令和6年10月6日(日)	書類審査：令和6年9月30日(月) 15:00 試験：令和6年11月1日(金) 15:00 令和6年11月1日(金) 15:00
学校推薦型選抜入試 ※歯・薬・看・リハ（理・作）： 指定校・特別協定校含む	歯 29 薬 46 看 43 リハ(理) 11 リハ(作) 9			
卒業生推薦入試	歯 7 薬 10 看 3 リハ(理) 1 リハ(作) 1	令和6年11月1日(金) ～10日(日)	令和6年11月17日(日)	令和6年12月2日(月) 15:00
編入学試験（歯学部2年次編入、 看護学科3年次編入）	歯 若干名 看 10			
一般選抜入試（Ⅰ期） リハビリテーション学科 理学療法学専攻一般選抜入試 （Ⅰ期）利用の作業療法学専攻 第二希望併願入試	【Ⅰ期】 歯 42 薬 95 看 30 リハ(理) 13 リハ(作) 5 【併願】 リハ(作) 若干名	令和6年12月9日(月) ～令和7年1月26日(日)	令和7年2月6日(水)	令和7年2月12日(水) 15:00
医学部一般選抜入試（Ⅰ期） 利用の薬学部併願入試	4	令和6年12月9日(月) ～令和7年1月26日(日)	一次：令和7年2月7日(金) 二次：令和7年2月15日(土)・16日(日)	一次：令和7年2月12日(水) 12:00（正午） 二次：令和7年2月17日(月) 12:00（正午）
一般選抜入試（Ⅱ期） リハビリテーション学科 理学療法学専攻一般選抜入試 （Ⅱ期）利用の作業療法学専攻 第二希望併願入試	【Ⅱ期】 歯 5 薬 20 看 若干名 リハ(理) 若干名 リハ(作) 若干名 【併願】 リハ(作) 若干名	令和7年2月3日(月) ～20日(水)	令和7年3月2日(日)	令和7年3月4日(火) 15:00
大学入学共通テスト 利用入試	歯 5 薬 5 看 4 リハ(理) 2 リハ(作) 1	令和6年12月9日(月) ～令和7年1月26日(日)	大学入学共通テスト： 令和7年1月18日(土)・19日(日) 面接：令和7年2月6日(水)	令和7年2月12日(水) 15:00

- 〈令和7年度入試のポイント・変更点〉
- 総合型選抜入試（薬学部・保健医療学部）選考方法の変更
 - 歯学部・薬学部 出願資格の変更
 - 歯学部 学校推薦型選抜入試（公募）・卒業生推薦入試・編入学試験の基礎学力試験の理科選択科目数の変更
 - 一般選抜入試 試験場の変更
 - 出願書類審査の点数化なし（総合型選抜入試を除く）※前年度継続
 - 保健医療学部 初年次学生納付金の減額
 - 保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻の特待制度の対象者拡充 ※前年度継続



※詳細は昭和大学受験生サイトをご確認ください。

学内会議報告

就任のお知らせ（6月11日 理事会承認）

昭和大学国際交流センター教授（員外）



土屋 静馬

医学部医学教育学講座 准教授
任命日：令和6年7月1日

昭和大学横浜市北部病院消化器センター（消化器外科）診療科長
〔勤務地：昭和大学横浜市北部病院消化器センター（消化器外科）〕



澤田 成彦

医学部外科学講座（消化器一般外科学部門）担当 准教授
〔勤務地：昭和大学横浜市北部病院消化器センター（消化器外科）〕
任命日：令和6年6月11日

昭和大学横浜市北部病院外科系診療センター（耳鼻咽喉科）診療科長
〔勤務地：昭和大学横浜市北部病院外科系診療センター（耳鼻咽喉科）〕



野垣 岳稔

医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座担当 准教授
〔勤務地：昭和大学横浜市北部病院外科系診療センター（耳鼻咽喉科）〕
任命日：令和6年6月11日

昭和大学鹿児島県地域離島精神医学寄付講座管理者



常岡 俊昭

医学部精神医学講座担当 准教授
〔勤務地：昭和大学附属烏山病院精神神経科〕
任命日：令和6年7月1日
※昭和大学鹿児島県地域離島精神医学寄付講座を兼務する。

昭和大学医療画像先進診断センター長



扇谷 芳光

医学部放射線医学講座（放射線科学部門）担当 教授
〔勤務地：昭和大学病院放射線科〕
任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

as human, for human
PARAMOUNT BED

あなたには眠りやすい角度がある。
「入眠角度」という新提案。

ベッドが動けば、眠りは変わる。

Active Sleep
BED

paramount.jp

パラマウントベッド株式会社

東京支店 〒136-8670 東京都江東区東砂 2丁目14番5号

www.paramount.co.jp

(03)3648-1171(代)

就任のお知らせ（7月9日 理事会承認）

医学部外科学講座（乳腺外科学部門）担当 教授
〔勤務地：昭和大学横浜市北部病院外科系診療センター（乳腺外科）〕



千島 隆司

医学部外科学講座（乳腺外科学部門）担当 教授（員外）
〔勤務地：昭和大学横浜市北部病院外科系診療センター（乳腺外科）〕
任命日：令和6年7月9日

医学部産婦人科学講座担当 教授
〔勤務地：昭和大学横浜市北部病院外科系診療センター（産婦人科）〕



市塚 清健

医学部産婦人科学講座担当 教授（員外）
〔勤務地：昭和大学横浜市北部病院外科系診療センター（産婦人科）〕
任命日：令和6年7月9日

医学部外科学講座（消化器一般外科学部門）担当 教授（員外）
〔勤務地：昭和大学藤が丘病院消化器センター（消化器・一般外科）〕



松尾 憲一

医学部外科学講座（消化器一般外科学部門）担当 准教授
〔勤務地：昭和大学藤が丘病院消化器センター（消化器・一般外科）〕
任命日：令和6年7月9日

理事会関係

令和6年度 学校法人昭和大学奨学生採用状況

【採用者数】65名
【貸与総額】32,500,000円（内訳：500,000円×65名）
小口理事長から、必要とする学生に奨学金が行きわたるように、次年度から予算を増額するよう要請がなされた。

令和6年度 学校法人昭和大学職員数（5月1日現在）

教育職員	2,347名	臨床研修医	188名
		歯科臨床研修医	91名
教育職員以外	4,979名	臨床研修薬剤師	66名
		職員合計	7,671名

令和7年度の保健医療学部入学金および初年次授業料の変更

保健医療学部の志願者を増やし、今後の新学科設置時における優秀な学生獲得を目的として、以下のとおり、令和7年度の保健医療学部入学金および初年次授業料を変更する。

- 入学金 500,000円→300,000円（200,000円減額）
- 授業料（年額）1,050,000円→750,000円（300,000円減額）

※2年次以降の学生納付金については変更なし。



【令和7年度 保健医療学部初年次学生納付金一覧】

看護学科	リハビリテーション学科 (理学療法専攻)	リハビリテーション学科 (作業療法専攻)
入学金	300,000円	300,000円
授業料(年額)	750,000円	750,000円
寮生活費	800,000円	800,000円
合計	1,850,000円	1,850,000円

◆昭和大学江東豊洲病院食道がんセンター廃止について

【変更点】 診療部門の「食道がんセンター」を廃止する。

※食道がんに関する診療は、消化器センターで行う。

【変更日】 令和6年7月1日

学務関係

◆昭和大学父兄会の名称変更について

6月8日(土)に開催された、昭和大学父兄会幹事会・総会において、令和7年度から校名が昭和大学から昭和医科大学に変更することに伴い、同じタイミングで昭和大学父兄会および昭和大学父兄互助会の名称を以下のとおり変更することが承認された。

【名称】

(変更前) 昭和大学父兄会→(後) 昭和医科大学学生後援会

(変更前) 昭和大学父兄互助会→(後) 昭和医科大学学生互助会

【変更日】 令和7年4月1日

◆学生の安否確認システムの導入について

地震等の大規模災害が発生した際に備え、学生の安否を迅速に確認するため、安否確認システムを導入した。関東4都県(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)に山梨県を追加したエリアで、震度6強以上の地震が起きた際に自動送信(メール)される。管理者への通知は全国震度5強以上とする。安否確認のメールの閲覧・応答がない学生、メールを閲覧したが応答がない学生については、再度連絡を取る運用である。学生に対して7月16日に操作訓練を行った。

総務課大学広報係

「SHOWA UNIVERSITY NEWS」2025年1月号(新年号) 表紙写真の募集のお知らせ



新年号の表紙を飾る写真を募集します。
皆さまからのご応募をお待ちしております。

【条件】◇デジタルカメラまたはスマートフォン搭載カメラで撮影されたデジタル画像(カラー・縮小していないもの)

◇ファイル形式: JPGまたはPNG

◇画素数: 短辺2,000px以上、長辺3,000px以上のもの

◇風景写真(人物・絵画はNG)

◇自作未発表のもの

【備考】◇掲載時に誌面に合わせて写真をトリミング処理します

◇撮影後の写真について、合成等の過度な加工は選外になる場合がありますのでご注意ください

【応募方法・お問い合わせ】応募写真はメールへのデータ添付、もしくはファイル転送サービスをご利用ください。

◇氏名(ふりがな)、大学との関係(学生・職員・卒業生など)、撮影場所を明記。 ※氏名、撮影場所を掲載しますのでご了承ください

◇送付先

学校法人昭和大学

総務部 総務課 大学広報係

メール: press@ofc.showa-u.ac.jp

2024年
10/25
締切



i Information

詳細・更新情報は各部署へお問い合わせください。

昭和大学学士会

第71回昭和大学学士会総会

【日時】 2024年11月30日(土) 13:00～ 17:00

【会場】 昭和大学4号館およびLive配信

1. 一般演題、学位論文内容発表
2. 年次報告
3. 昭和大学学士会学術奨励賞授与
4. 教育講演 〈Live配信も行います〉



昨年の様子

演題	演者
1) 心臓血管外科領域における低侵襲治療の導入	昭和大学大学院医学研究科 心臓血管外科学分野 教授 青木 淳
2) 臨床薬剤師育成システムの確立に向けて	昭和大学大学院薬学研究科 病院薬剤学分野 教授 田中 克巳
3) 初年次における要支援学生の早期把握に向けて	昭和大学富士吉田教育部 教授 小倉 浩

Live配信のお申込み等詳細は、昭和大学学士会ホームページにてご案内しています。

お問い合わせ 昭和大学学士会

電話: 03-3784-8074

メール: gakushikai@ofc.showa-u.ac.jp



上條記念ミュージアム

開催期間延長中! 「昭和の医療機器」展

上條記念ミュージアムでは、第5回企画展「昭和の医療機器」を開催していましたが、好評につき本年10月末日まで開催期間を延長します。昭和大学の創立以来、教育や臨床の現場で使用された医療機器の展示を通じて窺える昭和大学の歴史を、当時の写真とともに紹介しています。

【開館】 火曜日・金曜日 13:00～15:00 (予約制)

皆さまのご来館を心よりお待ちしております。

お問い合わせ 昭和大学上條記念ミュージアム

電話: 03-3784-8031

メール: museum@ofc.showa-u.ac.jp



認定看護師教育センター

2025年度 昭和大学認定看護師教育センター入学試験

認定看護師教育課程の受講生を募集します。

下記内容について入学試験を実施します。

【募集期間】 2024年10月28日(月)～2024年11月21日(木)

【試験日程】 2024年12月7日(土)

【募集分野・定員】

認定看護師教育課程 B課程		定員	
手術看護分野 (術中麻酔管理領域パッケージ)		16名	
腎不全看護分野 (透析管理関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連)		16名	
認知症看護分野 (神経及び精神症状に係る薬剤投与関連、 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連)		16名	
感染管理分野 (感染に係る薬剤投与関連、 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連)		16名	
クリティカルケア分野 (呼吸器(人工呼吸療法に係るもの) 関連、循環動態に係る 薬剤投与関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連)		16名	
認定看護師教育課程 編入学	定員	認定看護師教育課程 特定行為研修	定員
手術看護分野 編入学	若干名	手術看護分野	若干名
腎不全看護分野 編入学	若干名	腎不全看護分野	若干名
認知症看護分野 編入学	若干名	認知症看護分野	若干名
感染管理分野 編入学	若干名	感染管理分野	若干名
クリティカルケア分野 編入学	若干名	クリティカルケア分野	若干名

【受験資格】

〈共通要件〉

- (1) 日本国の看護師免許を有する者
- (2) 看護師として5年以上の実務研修を有する者(2024年12月末時点見込)

- (3) 各看護分野での通算3年以上の看護実績を有すること。
- (4) 各看護分野での5例以上の看護実績を有すること。

〈編入学〉

(1) 各看護分野での特定行為研修区分別科目を修了していること。

〈特定行為研修〉

(1) 各看護分野での認定看護師の資格を有する者

募集要項および詳細については、QRコードよりご確認ください。

お問い合わせ 昭和大学認定看護師教育センター

〒142-0064 東京都品川区旗の台1-8-12

電話: 03-3784-8794

メール: showantei@nr.showa-u.ac.jp



リカレントカレッジ事務局

昭和大学リカレントカレッジ
秋期プログラム受講生募集中

リカレントカレッジでは、秋期プログラム受講生を募集しています。全34講座を取り揃えた秋期プログラムでは、ライフスタイルに合わせての受講が可能となっています。今回は11月以降に開講する講座をご紹介します。資料請求・講座申し込みはリカレントカレッジホームページをご覧ください。

【11月開講】申込締切：10月20日(日)

プログラム名	講師(敬称略)
我が国の医療と健康 その2～医師国家試験問題から紐解く～	小風 暁
60代になったら始めよう！人生が豊かになる！姿勢・歩き方講座	岡山 知世
スマホで秋を撮る～感性を豊かにする山歩(さんぽ)～	原口 省吾

【12月開講】申込締切：12月20日(金)

プログラム名	講師(敬称略)
あなたも陥る身近な犯罪	城 祐一郎
生活習慣を見直して健康寿命を延ばそう！	小風 暁
いざという時の困らない！認知症との向き合い方～人生100年時代を自分らしく生きるために～	作田 浩行
自ら学ぶ“自ら守る”おとなのアレルギー・アナフィラキシーショック	鈴木 慎太郎
筋肉は生きる力！～100歳までの体力づくり～	石田 良恵
医療従事者のための英会話講座～応用編～	マイケル・マイヤース

【2月開講】申込締切：1月20日(月)

プログラム名	講師(敬称略)
楽しく高める自然治癒力～セルフケアで免疫力アップ～	佐々木 晶子
シミュレーションで学ぶICUリハビリテーション～体験して学び直し～	田代 尚範

※定員に達し次第、受付を終了いたします。

リカレントカレッジでは講師を募集しています。同窓生も講師として活躍中です。

お問い合わせ 昭和大学リカレントカレッジ事務局

電話：03-3784-8143

メール：recurrent@ofc.showa-u.ac.jp



総務部

昭和大学サポート寄付制度に
ご協力いただいた方

【創立100周年に向けてへの寄付】

同窓／濱名 元一 様(医学部・36回生)、米山 啓一郎 様(医学部・47回生)、望月 俊男 様(医学部・57回生)、丸山 直樹 様(医学部・72回生)、鹿島 健幹 様(医学部・84回生)

職員(50音順)／畔津 佑季 様、江川 薫 様、小口 勝司 様、衣笠 えり子 様、小出 容子 様

一般／アールパス技研工業株式会社 様、株式会社コスモス 様、長瀬ランダウア株式会社 様、有限会社森井ホームサービス 取締役 森井 昭久 様

【上條奨学基金への寄付】

同窓／昭和大学歯学部同窓会 様

【昭和大学藤が丘病院への寄付】

一般／河合 幸代 様、河合 千希里 様、河合 良昌 様

【学生等の留学・国際交流への寄付】

同窓／丸山 直樹 様(医学部・72回生)

【各クラブ・学生会への寄付】

同窓／石川整形外科 石川 岳 様(医学部・56回生)、勝野 雅弘 様(医学部・67回生)、医療法人社団マイスター 理事長 山下 智嗣 様(歯学部・13回生)

一般／日本中央競馬会 様

※収納期間：6月1日～7月31日

※本学広報媒体への掲載に同意していただいた方のみといたします

今号の表紙写真

表紙は富士吉田キャンパス最大のイベント、寮祭から。今年のスローガンは「雲外蒼天」です。「富士吉田キャンパスでしか味わえない青春の1ページを刻めるような寮祭にしたい」という実行委員の願いが込められています。コロナ禍以来、数年ぶりに近隣の方や保護者の方々にも参加していただき、大盛況の寮祭となりました。

現在は後期のカリキュラムが始まり、至誠一貫の心で実習に臨んでいることでしょう。引き続き本誌で学生生活や課程の取り組みをご紹介します。

SHOWA
UNIVERSITY
NEWS vol. 12学校法人 昭和大学 (03) 3784-8000
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8Aug. - Sep. 2024
昭和大学新聞 通巻第621号
令和6年9月30日発行
年6回発行

【本誌について】

発行人 小口 勝司

編集 総務課 大学広報係
(03) 3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp

ご意見や感想、各種情報をお待ちしています。

制作・印刷 株式会社ダイヤモンド・グラフィック社

配送停止
住所変更
のご連絡は、
こちらにお願
いいたします。

【各種募金・寄付について】

企画課 (03) 3784-8387

【学事について】

学務課 (03) 3784-8022 (旗の台)
(0555) 22-4403 (富士吉田)
(045) 985-6503 (横浜)

大学院課 (03) 3784-8793

入学支援課 (03) 3784-8026

! 個人情報の取扱いにご注意ください

昭和大学新聞には、学生・職員および学外関係者の氏名や所属等を掲載している場合があります。掲載に際しては、学校法人昭和大学が個人情報を広報活動に利用することについて説明し、同意していただいております。原則として、その他の目的に個人情報を利用することではできませんので、取扱いにはご注意ください。